



BAUMA 視察記

「働き方改革」は、正しいことなのか？

今年4月、ドイツ・ミュンヘンで3年に一度開催される世界最大級の建設機械見本市「BAUMA」を視察して来ました。会場は、旧飛行場を利用したメッセ・ミュンヘン。総面積61万㎡と巨大で、世界中から3200社が展覧し50万人が来場するビッグイベントです。

全部見ていたら何日あっても足りません。今回は、弊社が注力しているダンプ部門を中心に視察しました。感想を一言で表現すれば「国柄が違う」です。スウェーデンのブースでは日本人の奥様を持つ担当者が説明してくれました。彼によると、日本の道路規制における最大総重量(車両重量+積載量)は25トン。しかし、25トン車は坂道が多くカーブが連続する日本の道路事情に馴染まず、一般的に使用されているのは20トン車が最大。一方、ドイツを始めとするヨーロッパでは45

トンが一般的で、スウェーデンはなんと76トン車まで走行可能だそう。因みにアメリカは、オレゴンなど100トン超の州もあるそうです。つまり、日本の流通コストはドイツの2倍、スウェーデンの3倍にもなるということです。では、この規制値の差はどこから生じるのでしょうか？それは、「国土の体力」の差にほかなりません。頑強な岩盤で平野が続くヨーロッパに対し、我が国は軟弱地盤な上、急峻な地形が大部分を占めます。つまり、日本は、欧米の様な頑強な道路をつくるのが、物理的に出来ない国柄なのです。

私が最も訴えたいのは、ここからです。競馬に例えれば良馬場の欧米に対し、我が国はドロドロの重馬場を走る様なものです。加えてドイツ、フランス等の国の形は、ほぼ四角形で効率的であるのに対し、我が国は細長く島々が点在しております。そして、道路網にも格段の差があります。制限速度も異なり、ドイツ

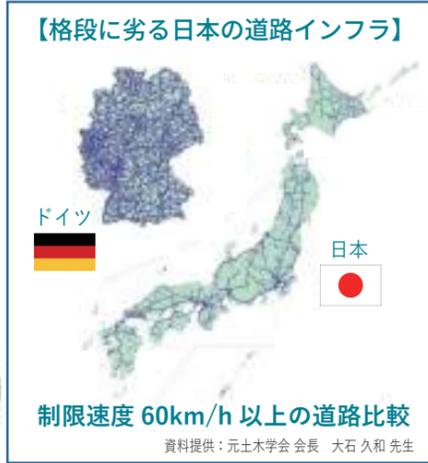
のアウトバーンでは速度無制限の区間も存在します。ドイツは我が国より生産性が高いと言います。しかし、ホテルやレストランやデパートで、あるいは飛行場や駅や電車で現地の方々と接しましたが、決して効率の良い働きをしているとは思えません。働きぶりというソフト面では断然日本が優れていると断言できます。では、なぜ生産性に差が生じるのか？それは、前述の積載量や道路網を始めとするハードの差に起因するものだと考えられます。

この様な条件下において、我が国の労働時間を欧米と同じにして、厳しい国際競争を勝ち抜いていけるのでしょうか？意欲のある人が働きたいと願う時に政府がそれを阻止していいのでしょうか？日本政府が進める「働き方改革」に、大きな疑問を抱いたBAUMA視察でした。

阿部伸一郎



道路インフラ等、ハードの差に起因するのでは？



道路総重量規制値		
日本	ドイツ	スウェーデン
25 t (20 t)	45 t	76 t



↑車輪の数に注目

建築 NEWS

多治見市内 美容室『II_en hair (サンエン ヘアー)』新装工事竣工



多治見市内でテナントを改装中だった美容室『II_en hair (サンエン ヘアー)』新装工事が無事竣工を迎え、お引き渡しをすることが出来、去る4月8日、堂々オープンを迎えました。

こちらの美容室は以前から店舗を新築させて頂きました、株式会社 OlinaS 様の4号店となる店舗で、今回は中庭のあるクラシカルなテナントビルの一角を改装させて頂きました。

外壁面のネオンサインや天井の鉄骨やデッキをあえて剥き出しにしたデザインなど、要所にアクセントを置いたスタイリッシュな美容室です。



【外壁面のネオンサイン】

セントラル建設では地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手として、確実な施工はもちろんのこと、お住まいや建物づくりに関する様々なアドバイスをさせて頂いております。

今後とも変わらぬご愛顧を頂きますようよろしくお願いいたします。

【住所】多治見市本町3丁目9番地2 ABC アカデミービル1B 【TEL】0572-51-8772
 【営業時間】 平日/10:00 ~ 19:00 土日祝/19:00 ~ 19:00 【定休日】月曜日

健康的な習慣で、初夏の不調を乗り切ろう！

雨の日や雨が降る前、低気圧が近づくと、体調が不安定になったり体に痛みが生じることがあります。それは気象要素に影響を受ける『天気痛』が原因かもしれません。『天気痛』は、耳の奥にある内耳の気圧センサーが、気圧の変化を感知する際に過剰に反応し、体がその変化に順応しようと交感神経の活動が活発になり、血管収縮などの症状を引き起こすと考えられています。また、耳の回りの血行が悪くなると、内耳がむくんで過敏になり、『天気痛』を起こしやすくなるようです。その人がもともと持っていた症状が、天気の影響を受け発症したり悪化したりするため、頭痛・神経痛の悪化・めまい・肩こり・首痛・腰痛・眠気・耳の違和感・気分の落ち込み・うつ不安症など多岐にわたります。

ご自身でできる改善策として、内耳の血行を良くするために、耳の後ろにあるツボを温めるのが効果的です。またこれからの季節、冷房などで耳を冷やし過ぎないよう気を付けると良いでしょう。耳のマッサージもおすすです。両耳を手でつまみ上下や横に引っ張ったり、つまんだまま回したりします。手のひらで耳全体を覆い、後ろ

に円を描くようにゆっくり回すのも効果があります。マッサージは症状が出る前に行うことで予防につながります。即効性はない為、2週間~1ヶ月ほど続けてみてください。

さらに、体質的に『天気痛』になりやすい人は、気象の影響を受けないよう自律神経を整えることも重要です。具体的には、①起床時には太陽の光を浴びる。②毎日朝食を食べる。③日中にウォーキングなどの運動をする。④ぬるめの湯で入浴する。⑤就寝と起床の時間を一定にし、質の良い睡眠をとる。などの生活習慣です。日中は活動的に、夜はリラックスして過ごす生活を中心掛けることで改善につなげましょう。梅雨が明け、体調を整え、楽しい夏を過ごせると良いですね。



せんとらるライナー 食堂車 お好み焼き・鉄板焼き たけちゃん

今年の秋で開店から27年目を迎える、お好み焼き・鉄板焼きのたけちゃん。オーナーの武岡正廣さんは、食い倒れのまち大阪で独立しお好み焼き屋を展開していた。お店の経営はボチボチだったが、何せ家賃が高いという悩みを抱えていた。

そんな武岡さんは、中央道の恵那峡サービスエリアで仕事をしていた同僚のお手伝いで、何度か恵那を訪れる内に、田舎暮らしも楽しそうだったのと、家賃の安さが魅力で思い切って恵那にお店を構えることを決めた。



【昭和の風情漂う外観】

元々、お好み焼き屋は戦後の大阪で小麦粉を使った手軽な食事として庶民の間に広がった。ビールやハイボールと相性が抜群だったことから、次第に居酒屋の役割を持つようになったという。ここ、たけちゃんも正にそんなお店だ。夜は、定番のお好み焼き、たこ焼き、焼きそばは勿論のこと、一品料理、揚げ物、炒め物、なべ物など、



アルコールが進む料理が並ぶ。武岡さんが「生まれ育った当時の大阪の味」をキーワードとする、この店の料理の評判は上々。この文章を書いている私の一番のお勧めは、太麺の焼きそば。とにかく麺が美味しい。下呂の製麺所に、たけちゃんの拘りを伝え作ってもらったオリジナル生麺だそう。



【大阪の味に拘る武岡さん】



【裏メニュー セントラル】

ちなみに、セントラル建設の職員はランチの常連。ある職員が、ソース焼きそばと塩焼きそばを半々にしてくれと注文したのがきっかけで、ミックスはいつしか「セントラル」と呼ばれる様になった。メニューにはないが是非、お楽しみあれ。

営業時間 昼 11:30 ~ 13:30 定休日 月曜日
 夜 17:00 ~ 22:00
 住所 恵那市大井町177-26 TEL 0120-928875
 (パロー恵那店前)

